



宮城県で働く「内定者&企業の声」

2020年度外国人留学生

宮城県で内定が決まりこれから羽ばたいていく外国人留学生。そして未来を見据え、外国人留学生のインターンシップを行う企業。それぞれの生の声をお聞きました。

株式会社サトー商会
内定者の声 **タン・ゴック・マイさん**
2021年 宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 卒業予定 (ベトナム)

食品関係に興味があったというマイさんは、DATEntreのインターンシップでサトー商会と出会い、その仕事の面白さに惹かれインターンシップ終了後もアルバイトを継続。「商品陳列やレジ業務、品出し、箱詰めなどを経験し、仕事の奥深さを知りました。就職を希望していたので、内定をいただけてとても嬉しいです」(マイさん)。自身の課題となっている、コミュニケーション面や日本語の勉強を続けながら、2021年4月より本格的に仕事が始まります。「食や外国人が買いやすい店作りを通して、ベトナムと日本の架け橋になれば」と笑顔がこぼれます。



外国人向けを意識した売り場づくりを任せられ、商品の選定や配置に真剣なマイさん

外国人初採用、そのきっかけとは

2019年のDATEntreのインターンシップがきっかけでした。最近ではタイやネパール、ベトナムの方など外国人のお客様も増加傾向にあるため、外国人向けのお店作りを進めていく必要があると考えていた折に、このインターンシップを知りマイさんと出会いました。外国人採用が正式に決まったのは初ですね。

インターンシップでは本場で3日間の研修、現場での仕分け、見学、店舗業務と一連の流れを体験してもらいました。会社として今後、留学生のアルバイト人員を増やしていきたい、将来は海外店舗のマネージャーとして活躍できる人材を育てたいという思いがあります。マイさんには将来、海外と日本の食文化を繋いでほしいと思います。

初めての外国人採用で留意したこと、苦労したこと

外国人材が馴染めるような環境整備・雰囲気作りを留意しました。日本人同士であってもちょっとした習慣の違いから関係構築が難しくなってしまうことがあります。国が異なり文化や習慣が異なればそれはなおさらです。そこで、2年

前に外国人雇用のセミナーなどに参加し、マニュアルを作成。マイさんが働き始める前に、文化や習慣の違いについて社内で共有・周知を進めました。また、店舗独自のルールをまとめる他、暗黙の了解をやめよう、言葉で伝えようということを意識し、マイさんだけではなく日本人従業員同士でもお互いに理解を深め適応していけるような環境を整えています。まだまだ発展途上ではありますが、これを機に会社全体でアップデートしていけたら、と思います。

採用に際して社内の反響は

文化や習慣の違いなどによって現場に馴染めるかと心配もありましたが、明るくハキハキ仕事に打ち込むマイさんは、社内でもあつという間に打ち解けていました。また、そういう姿勢が日本人従業員にもプラスの刺激となっており、お互いにいい

影響を合っていますね。

これから5年後、10年後の業務への期待とは

大きく分けて5つあります。1つ目はベトナム人視点を活かした、よりニーズに寄り添った売り場作り。2つ目はベトナム人のコミュニティー作り。お客様への具体的な提案に繋げていってほしいですね。3つ目は、今後の輸入食材の開発や、海外進出を見据えた取り組みに携わってほしいという点です。4つ目は、マイさんの語学力やコミュニケーション力を活かした、外国人アルバイトの管理業務。5つ目は海外店舗のマネージャーとして活躍してほしい、という点です。

マイさんの魅力は、なにより明るくて元気なところ。食品に対しても自分で実際に食べて研究するなど探究心が強く、それが仕事にも活きています。



今後のマイさんの活躍には期待大です!

(左から)C&C本部課長代理 金田 裕志さん、C&C仙台朝市店 店長 小野 敦さん、マイさん、C&C仙台朝市店 屋代 英二さん、人事部人事課 係長 野口 拓也さん

会社の未来を考える インターンシップを受け入れる「企業の声」



株式会社アステム
総務課 課長

総務課

(左) 松岡 直美さん (右) 佐藤 純奈さん

高度外国人材に期待する事柄・役割とは

期待する役割としては5つあります。1つ目は、語学力を活かしたプレゼンテーション力による海外へのアプローチ。2つ目は高度な技術的知識・専門知識を活かした、国内外の顧客ニーズに合った商品、サービスの企画・開発。3つ目は、グローバルビジネスのリーダーシップの発揮。4つ目は海外の法・制度に関する着眼点や知見。5つ目は日本人社員の働く意欲・積極性の向上です。意欲的な留学生と仕事をすることで、日本人社員にとってもプラスの刺激になり、社内に活性化することを期待しています。留学生ならではのアイデアや、海外の商習慣の知識を活かし貿易などの海外関連業務などに携わってもらえたら、と考えています。会社としてもそういった柔軟な発想をプラスに活かしていく環境をより充実させ、会社全体として一緒に成長していけたら、と思います。

日本人学生・外国人留学生の相違点とは

探究心が強く、働くことに対するモチベーションが高い人材が多いと感じました。外国人にとって異国である日本という地で、自分の力をどう役立てられるのかを常に考えている人材が多い印象です。「大学で学んだことを仕事で活かすには」と、枠にとらわれずに物事に取り組もうとする積極的な姿勢が、一番の違いだと思います。

大学への期待

これからも留学生の採用活動を積極的に進めていきたいと考えています。会社全体として全力でサポートし、仲間として課題解決方法を一緒に模索していきたいです。今後も外国人留学生のみならずにはDATEntreやインターンシップを通じて、楽しみながら参加していただけたら、と思います。

キリンビール株式会社仙台工場
総務広報担当

当房 貴久さん



高度外国人材に期待する事柄・役割とは

インバウンド人口増加に伴う、工場見学などの現場での役割や、留学生ならではの知識や経験を活かした商品の魅力の伝え方や工夫の仕方、発想に期待しています。実際にインターンシップ内で「中国語のパウチを作つてはどうか」という意見がありました。このような留学生目線の「もつとこうすると魅力が伝わる」という意見を取り入れ、一緒によりいいものを作り上げていきたいですね。

日本人学生・外国人留学生の相違点とは

コミュニケーションを取る中で印象的だったのは、学業を活かそうとする姿勢です。言葉の壁を気にせずに積極的に発言し、物事を理解しよ

うという一生懸命な印象があります。無意識に固まってしまう考え方を飛び越えて、フラットな目線で意見が飛んでくるところも新鮮でした。リーダー性も高く意欲的で、日本人の学生と合同となるプログラム内では、国際的な視野を持ちたいという学生同士でお互いにより刺激になっている印象でした。

大学への期待

未来を担う若年層と繋がる機会があり、非常にありがたいです。地域に貢献し、お客様に愛される工場を目指す中で、若年層ならではのアイデアや多様な視点が欠かせません。今後も、このような繋がる機会を継続的にもちたいと思っています。引き続き連携を深めていきたいですね。